

- サイバー情報共有イニシアティブ（J-CSIP）

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が、重要インフラ分野等（電力、化学、ガス、石油、重工、資源開発の6業種（61組織））における情報共有網を構築。各社と秘密保持契約を結び、情報収集、解析、共有等を実施。

- 制御システムセキュリティの対策の推進

技術研究組合制御システムセキュリティセンター（CSSC）が、昨年度より、インフラを制御する制御機器のセキュリティ認証を開始。また、今年度は、電力、ガス、ビル、化学の4分野を対象に、制御システムにかかるサイバーセキュリティ演習を実施予定。

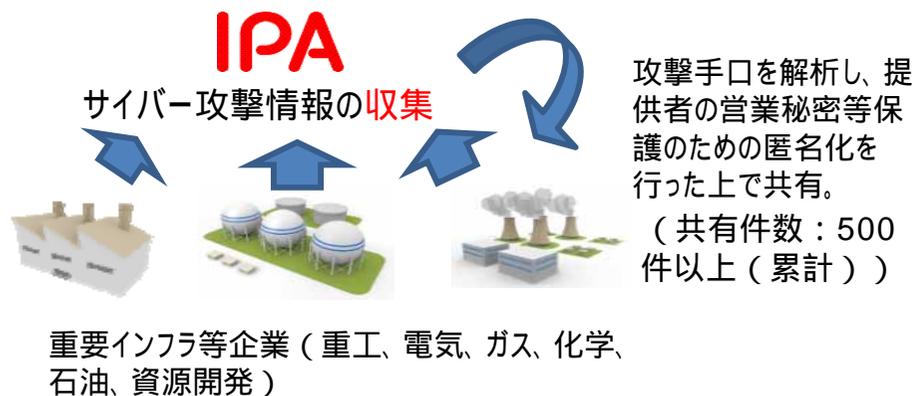
- 緊急時の初動対応支援

経済社会に被害が拡大するおそれ強く、一組織で対処困難なサイバー攻撃について、IPAのサイバーレスキュー隊により、被害状況を把握し、被害拡大防止の初動対応を支援。

- 国際連携によるサイバー攻撃対処

攻撃対応連絡調整窓口（窓口CSIRT）の連携により、サイバー攻撃の温床となっている国際的攻撃基盤を共同駆除。

【サイバー攻撃情報共有体制（J-CSIP）】



【サイバーレスキュー隊の取組み】

